

VIII. 参考資料

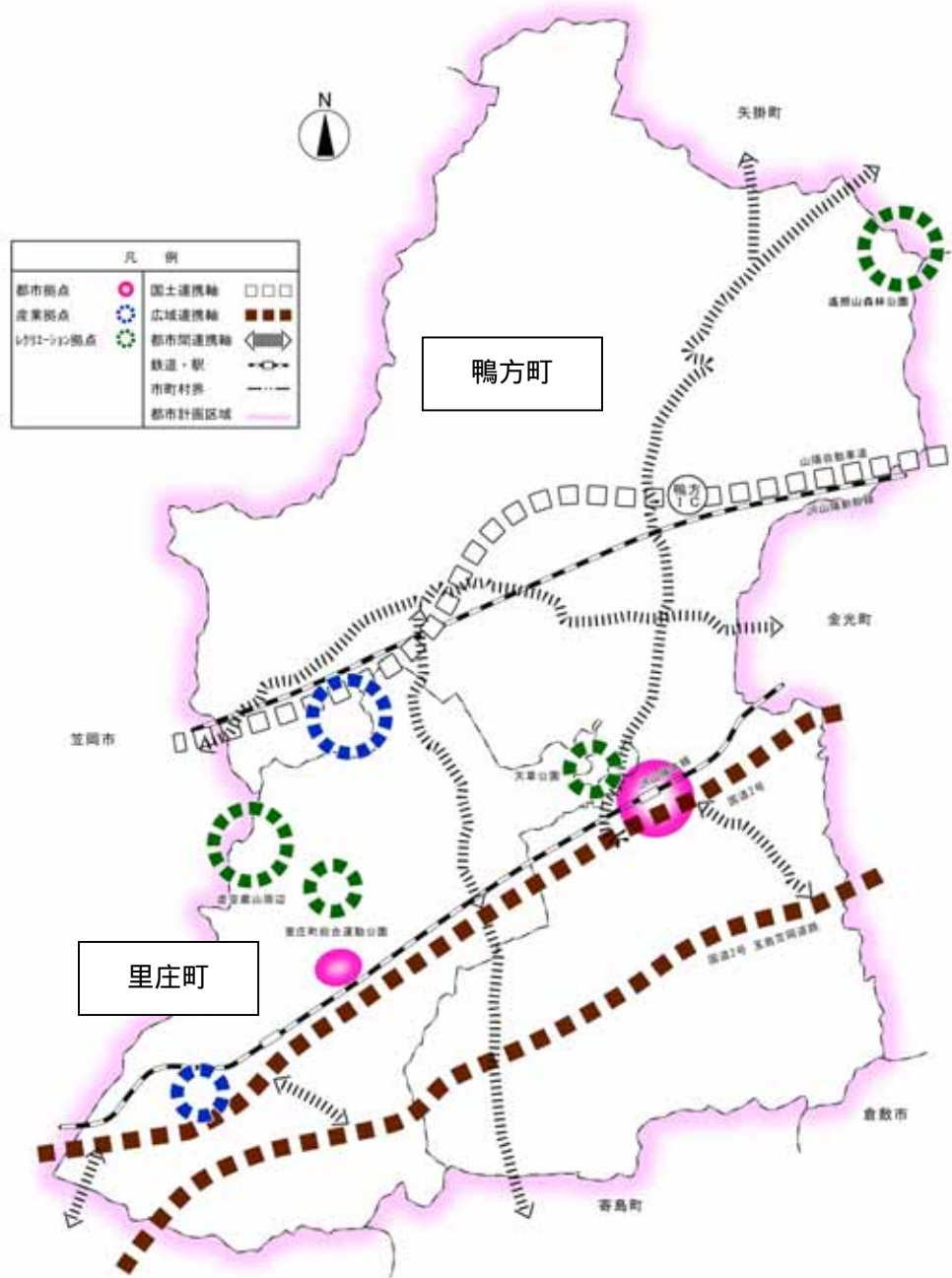
1. 上位・関連計画の整理

(1) 広域圏計画

鴨方都市計画区域マスタープラン（H12～H22年度／平成16年5月策定）	
対象市町村	浅口市（旧鴨方町） 里庄町
鴨方都市計画区域の位置づけ（役割） 産業拠点都市 岡山県西部の住宅拠点	鴨方都市計画区域の都市づくりの課題 少子・高齢化への対応 周辺都市との連携 中心市街地の形成 土地利用の適正な規制・誘導 道路や下水道など都市施設の整備推進
鴨方都市計画区域の都市づくりの基本方針	
豊かな自然を活かした都市づくり	<p>山や川などの豊かな自然環境、歴史や文化、風土など、地域に広がるこれらの資源と調和した個性ある都市づくりを目指して、これら地域資源の保全や活用を進めるとともに、人々が生活を営む市街地や集落地などでは、地域の実情に応じた適正な土地利用の推進を行うことで、自然環境に優しい、便利で快適な都市づくりを進めていく。</p> <p>また、鴨方都市計画区域では、低地部の市街地や集落を取り囲むように丘陵地が広がっており、緑の豊富な優れた自然環境、自然景観を形成していることから、田園環境と既存集落が調和のとれた秩序ある都市づくりを進める。</p>
安心・安全でゆとりのある都市づくり	<p>少子・高齢化の進展、成長を続ける都市化社会から安定・成熟した都市型社会へ変容など、都市の転換期のなかで、県民の誰もが安全で、安心して健康的に暮らせるような都市づくりを目指して、市街地の防災機能を向上させるとともに、道路整備における歩道の設置や段差の解消、公共施設整備におけるユニバーサルデザインの導入などを促進していく。</p> <p>このため、鴨方都市計画区域では、計画的・効果的な都市基盤施設の整備を行うとともに、市街地の防災機能に配慮した整備を進めていく。また、必要な公共施設の整備にあたっては、市街地を中心に計画的・効果的に配置するとともに、誰もが利用しやすいような配慮を行っていく。</p>
連携や交流が活発な都市づくり	<p>岡山県内の都市圏間や地域間のみにとどまらず、全国や世界との間で、人や文化、経済などの連携や交流を進め、にぎわいのある活発な都市を目指して、高速道路網や鉄道・空港の整備などによる広域交通体系の整備や岡山情報ハイウェイに代表される高度情報通信基盤の整備を推進していく。</p> <p>また、鴨方都市計画区域では、県南広域都市計画区域や笠岡都市計画区域との連携を図りながら、産業の拠点となる都市としての役割を今後も継続していくことが必要とされている。さらに、身近な自然を活かした都市づくりを進めていくため、市街地周辺に広がる丘陵地に位置するレクリエーション機能の充実を図ることが必要である。このため、主要幹線道路と都市間幹線道路の整備を進めていくとともに、これらをネットワークする都市内幹線道路の整備も行っていく。</p>
地域の顔がみえる自立した都市づくり	<p>県内各市町村は、広域的な都市の連携に基づき、それぞれの位置づけや役割を担えるように、それぞれの都市や地域の特性を活かした都市づくりを目指していく。また、自己決定・自己責任の原則に則った地方分権の推進のもと、各市町村では、地域の創意工夫による自立した都市づくりを行っていく。</p> <p>このために、都市づくりの指針となる市町村マスタープランの策定を促していく。</p>

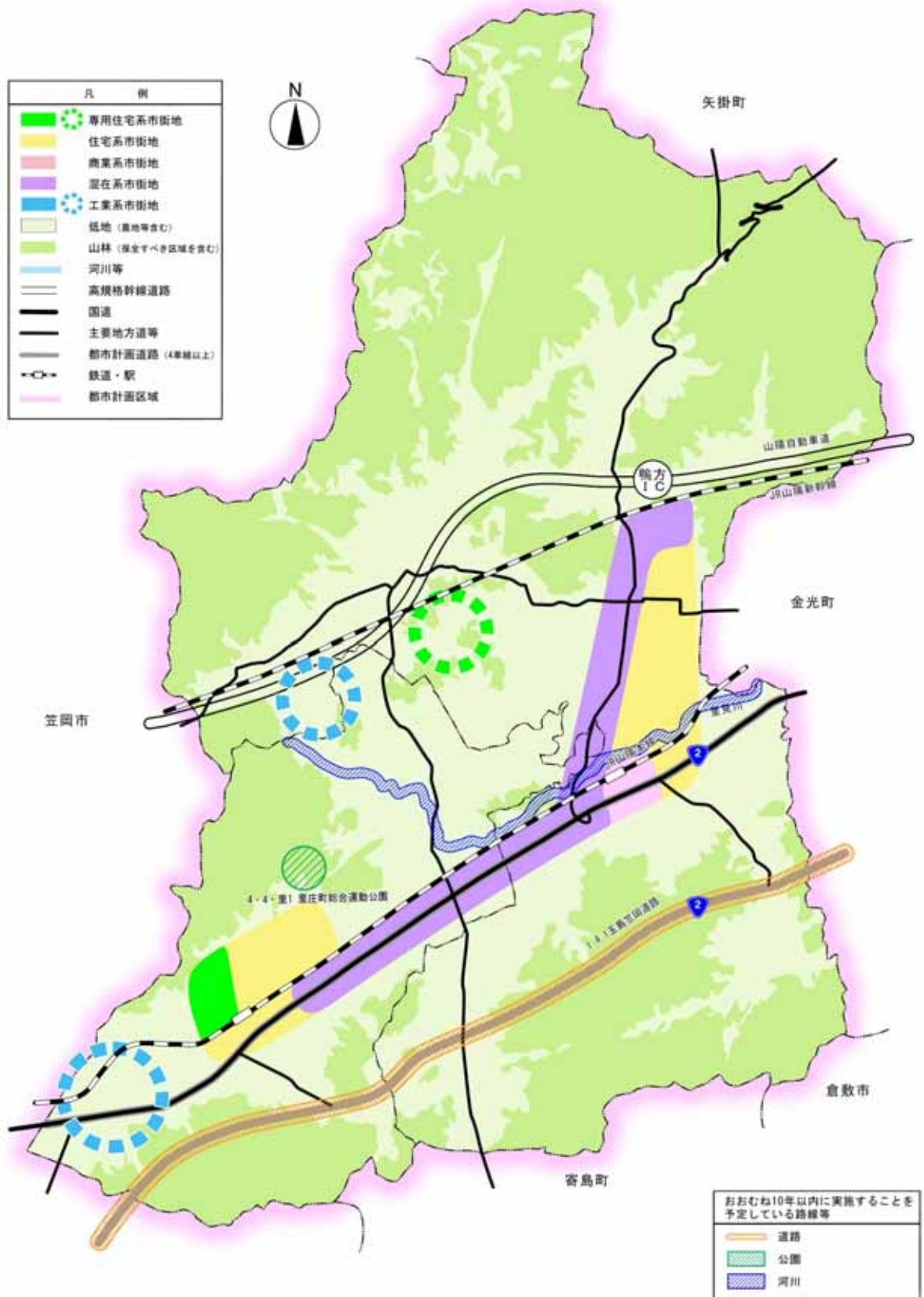
将来都市構造		
拠点	都市拠点	・ JR 鴨方駅、里庄町役場周辺は、都市の拠点と位置づけ、魅力ある市街地形成に努める。
	産業拠点	・ 既存の工業地等を産業拠点として位置づけ、産業機能の充実を図る。
	レクリエーション拠点	・ 虚空蔵山周辺の里庄美しい森や遙照山森林公園は、自然とのふれあい拠点として位置づけ、その充実を図る。 ・ 里庄町総合運動公園や天草公園は、観光・レクリエーション拠点としての整備を図る。
軸	国土連携軸	・ 本区域と京阪神方面、広島方面とを結ぶ高規格幹線道路について、各方面との連携の強化を図る。
	広域連携軸	・ 本区域と広島県福山市、または、県南圏域とを結ぶ国道2号、国道2号玉島笠岡道路について、都市圏間の連携強化を図る。
	都市間連携軸	・ 各拠点を結び、本区域内及び隣接市町村との連携強化を図り、国土連携軸へのアクセス強化を図る。

将来都市構造図



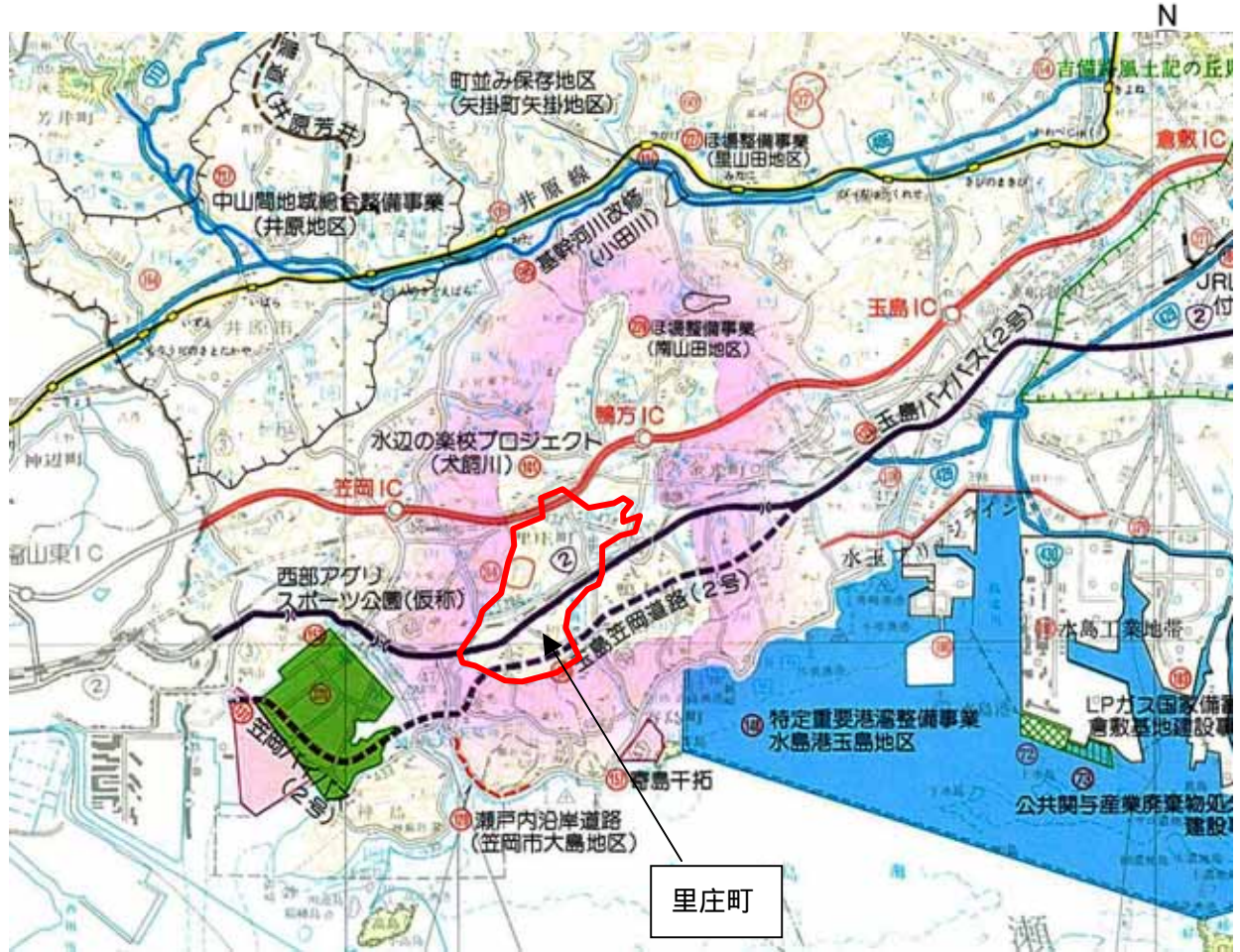
(注) 図中の市町村名は市町村合併前のものです。

【参考：土地利用に関するイメージ図】



（注）図中の市町村名は市町村合併前のものです。

【参考：大規模プロジェクトの状況】(鴨方都市計画区域は桃枠、うち里庄町は赤枠内)



里庄町

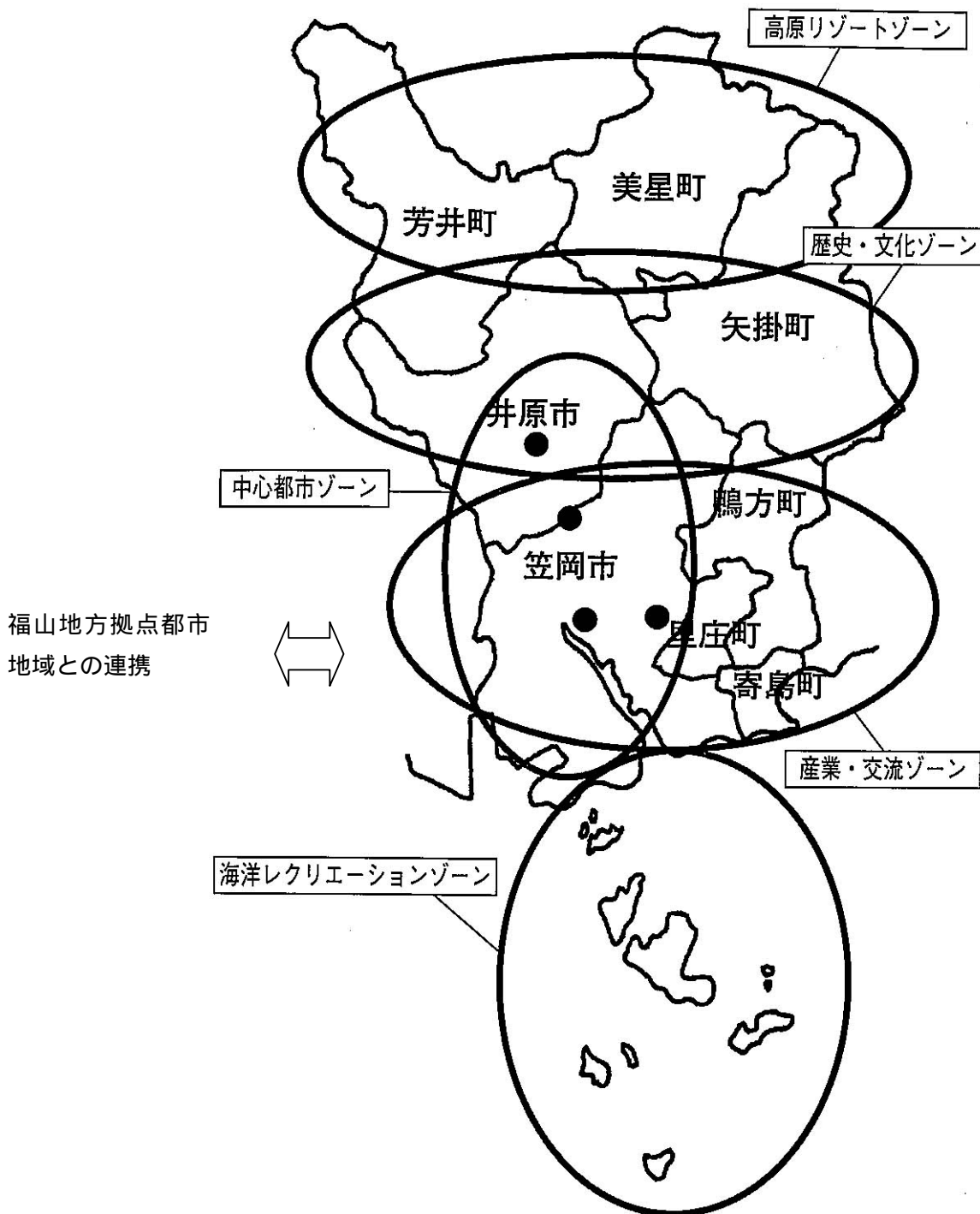
重要港湾整備	児島湖流域下水道	国立公園、国定公園、自然公園	中山間地域総合整備	ほ場整備	広域農道	大規模林道・広域基幹林道	基幹河川改修	一般国道(県管理区間)	一般国道(直轄管理区間)	地域高規格道路(国道は除く)	高速自動車国道・一般有料道路等	整備区間	整備区間	整備区間	整備区間

岡山県『岡山県主要事業等概要図(H15.4)』より

第3次井笠地方拠点都市地域基本計画（H13～H22年度／平成8年10月策定）

対象市町村	浅口市（旧金光町）を除く2市6町、中心都市は笠岡・井原の両市
基本理念	21世紀の新たなライフスタイルを創造する総合生活空間の形成
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> (1) 都市機能の充実 (2) 産業基盤の整備 (3) 居住環境の整備 (4) 文化・教養・余暇活動の推進 (5) 交通・情報通信ネットワークの整備

本地域の機能分担



(注) 図中の市町村名は市町村合併前のものです。

第3次井笠圏域振興計画（H8～H17年度／平成13年3月策定）	
対象市町村	浅口市（旧金光町）を除く2市6町（前頁参照）
基本理念	21世紀の新しいライフスタイルを実現する多自然居住地域の形成
里庄町のまちづくりの方向	
本町のまちづくりの将来像である「こころふれあう、緑豊かで文化のかおるまち里庄」の実現を目指す。	
(1) 国際感覚あふれる人づくりと文化活動の展開	<p>住民の多様化する学習ニーズに対応して、住民が生涯にわたる学習機会に恵まれるように努めるとともに、生涯学習の一環として青少年の健全育成を推進する。また、個性あふれる地域文化づくりを推進するために、分館活動と連携して地域の文化芸術団体、文化サークル等の組織の育成を図る。</p> <p>さらに、国際感覚あふれる人づくりの推進のために、国内や外国の都市等との多面的な交流を積極的に促進する。</p>
(2) 潤いと活力あるまちの基盤整備	<p>土地利用については住宅地ゾーン、工業・沿道サービスゾーン、田園ゾーン、森林ゾーンに区分し、市街地等の整備、農地の整備・活用、森林の保全・活用等を積極的に推進する。</p> <p>交通体系の整備については、広域的な幹線道路網の整備を促進するとともに、地区・集落間を結ぶ道路網形成に努める。</p> <p>情報社会といわれる今日、情報通信体系の整備とその活用を推進するため、井笠広域市町村圏で計画しているテレピア構想を推進するとともに、総合的な情報化を進め、住民へのサービスの向上と、広域的な文化の発信に努める。</p> <p>町の景観の骨格となる森林ゾーンにおける森林の保全活用、田園ゾーンにおける水辺空間等を保全整備、住宅地ゾーンにおける宅地内緑化、工業・沿道サービスゾーンにおける敷地内緑化などにより、緑豊かな、潤いのあるまちづくりを推進する。</p>
(3) 安全・快適な定住環境の充実	<p>需要動向をみながら町営住宅の建設検討や住宅地ゾーンでの民間の住宅開発を誘導するなど、計画的な住宅地整備を促進する。また、安全で災害に強いまちづくりを推進するために、地域防災計画の充実により防災体制の確立を図る。</p> <p>生活道路における安全・快適な道路網の形成や、交通安全意識の啓発に努め、交通安全対策を充実する。ごみ・し尿処理の収集サービスの向上に努めるとともに、処理体制や施設の整備・充実を図る。また、公害問題については、環境保全対策を一層推進することにより、今後ともその予防と防止に努め、環境保全対策の推進を図る。</p>
(4) 心ふれあう健康・福祉社会の充実	<p>高齢者福祉については、介護保険制度の充実に努めるとともに、生活環境の整備、生きがい対策等の充実を図る。また、児童の健全な育成と福祉の増進を進めるための児童福祉、心身障害者（児）に対する在宅福祉サービスの充実、さらに自立化の促進、母子・父子家庭や生活困窮世帯等に対する支援対策の充実等、多様な福祉ニーズへの対応を強める。</p> <p>町民への健康教育や健康づくりの推進、各種の検診、疾病予防対策等の保健施策の充実を図るとともに、医師会の協力を得て広域的な医療体制の確保に努め、救急医療の普及、在宅保健医療の充実、正しい医療知識の普及等を図る。</p>
(5) 活力のある産業経済の振興	<p>農業については、生産基盤並びに集落環境の整備を促進し、地域特産物の生産、農産加工等を奨励し、特色ある地域農業を展開する。</p> <p>商業については、商工会の育成・強化を図るとともに、商店の近代化や経営の安定に向けた指導・援助等の活動を促進していく。</p> <p>工業については、立地条件の良さを生かし、既存産業の活性化を促進するとともに、新規に研究開発型産業等の誘致を推進する。</p> <p>また、消費者の利益を保護し、生活の安定・向上を図るため、消費者団体の育成・強化を図るとともに、啓発活動や消費者ニーズに適応した情報の提供等に努める。</p>
(6) まちと暮らしを守り育てるコミュニティの形成	<p>住民相互の連帯感を醸成し、いきいきと暮らしやすい地域づくりを推進するために、コミュニティ組織、コミュニティ活動の充実を図るとともに、集会施設、公園等の施設整備を推進する。</p> <p>また、まちづくり・人づくりのための組織を育成・充実し、新しい住民と従来から居住する住民が一体となって、いきいきとした心豊かなまちづくりを推進する。</p>
(7) 計画的・効率的な行財政運営	<p>行政運営においては、多様化する行政需要に対するために、組織体制の充実と合理化・効率化を図り、長期的な展望にたった計画行政を推進する。</p> <p>財政面においては、町税等の自主財源の確保に努めるとともに、民間との役割分担、連携等により、合理的な財政運営に努める。</p> <p>また、町民参加によるまちづくりの推進を図るとともに、地方分権に伴う行政需要の増大に対処するため、井笠広域市町村圏内市町との広域行政の充実に努める。</p>

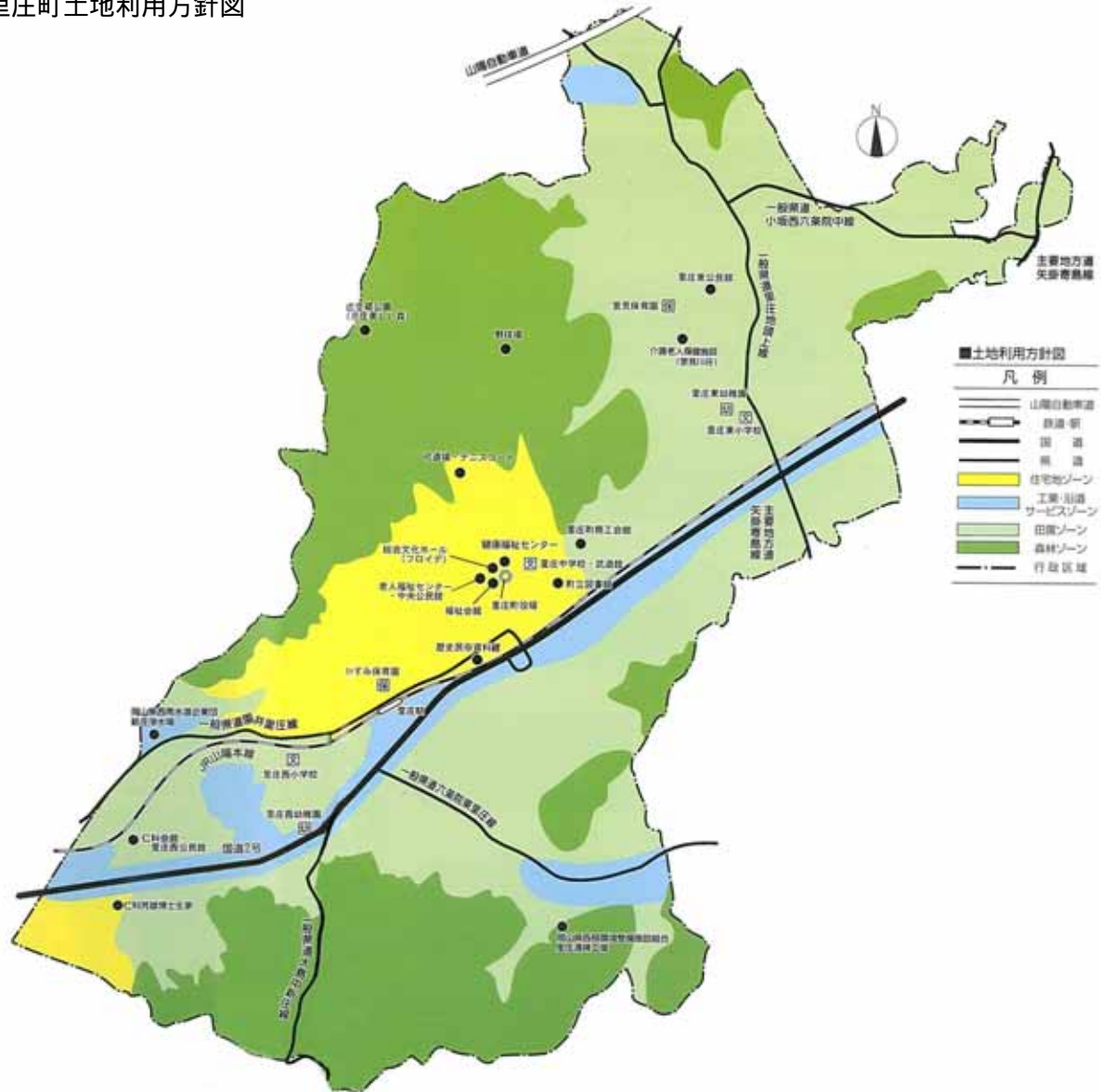
(2)市町村計画

里庄町第2次振興計画基本構想（H12～H22年 / 平成12年3月策定）

まちづくりの課題 (1) 広域的な社会形成の推進 井笠広域市町村圏の充実	
(2) 暮らしやすさの追求	高齢化への対応 少子化への対応 地域の一体性の形成
(3) 優れた環境を守り育てるために	森林の保全と活用 田園環境を守り育てる 暮らしの中の環境対策の推進
(4) 未来を切り開くために	人材の育成 情報社会、交流社会に向けて

将来像
 (1) 新しい世紀を担う人づくりをすすめるまち
 (2) つながりのある地域社会と人々のいきがいがあるまち
 (3) 「ふるさと里庄」の豊かな環境を育むまち
 キャッチフレーズ
 「こころふれあう、緑豊かで文化のかおるまち里庄」

里庄町土地利用方針図



2. 都市の現状

(1) 都市計画区域指定状況

本町は、鴨方都市計画区域に属し、非線引きの都市計画区域です。

都市計画区域は行政区域の全域に指定されており、用途地域は指定されていません。

都市計画区域、用途地域の概況

(平成16年3月31日現在)

都計区域	市町村名	行政区域		都市計画区域				用途地域	
		面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)	法指定年月日	最終区域指定年月日	面積 (ha)	構成比 (%)
鴨方	浅口市 (旧鴨方町)	3,644	74.9	3,644	74.9	S25.6.9	S51.4.1	-	-
	里庄町	1,223	25.1	1,223	25.1	S43.4.13	〃	-	-
	計	4,867	100.0	4,867	100.0			-	-

資料：都市計画年報

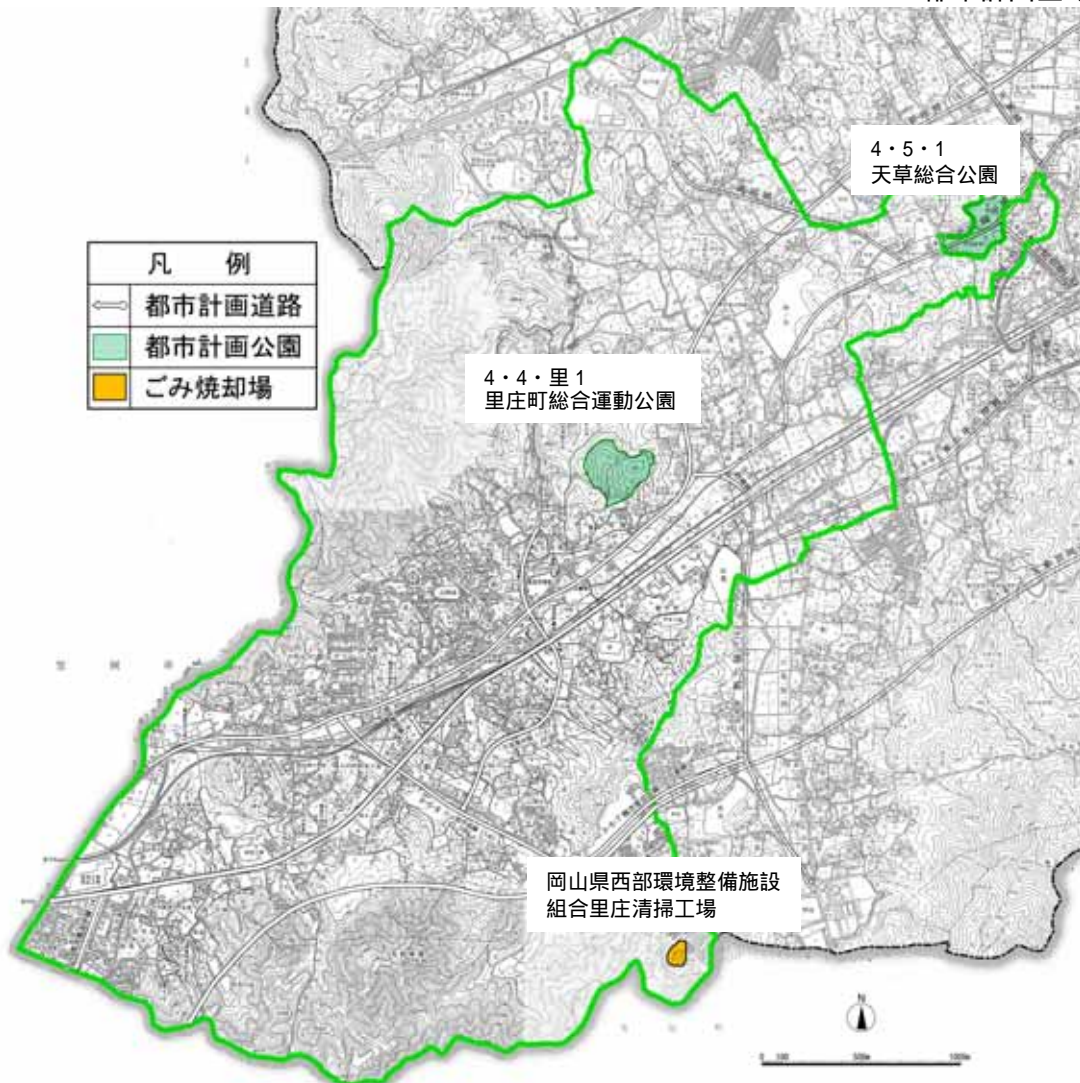
地域地区・都市施設指定状況

(平成16年3月31日現在)

区分	区域区分	地域地区	都市施設					市街地開発事業	地区計画等
			道路	駐車場	公園	下水道	ごみ焼却場		
浅口市 (旧鴨方町)	-	-						-	-
里庄町	-	-		-				-	-

資料：都市計画年報

都市計画区域図

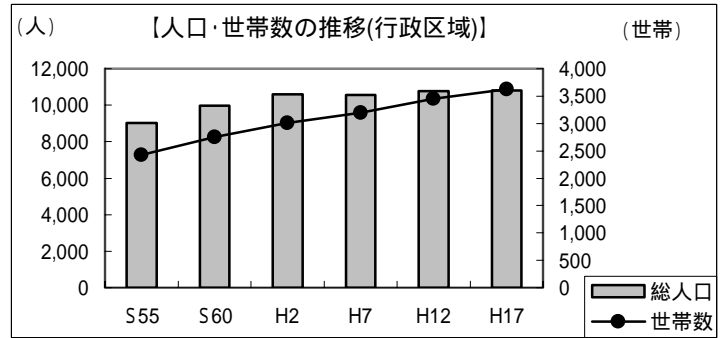


(2)人口動向

ア 行政区域人口・世帯

行政区域人口は、昭和 55 年より増加傾向を示しており、平成 7 年にはわずかに減少に転じたが、平成 12 年には再び増加しています。

これは、国道 2 号という立地条件から、工業立地が進み、住宅地開発が振興したことによるとものと想定されます。世帯数は増加の一途をたどっています。

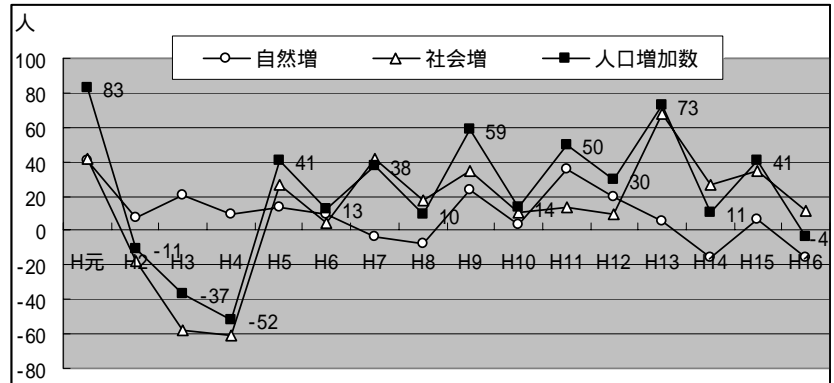


単位: 人	里庄町						岡山県
	S55 1980	S60 1985	H2 1990	H7 1995	H12 2000	H17 2005	H17 2005
総人口	9,038	9,975	10,589	10,583	10,782	10,822	1,957,056
世帯数	2,422	2,755	3,009	3,199	3,451	3,624	731,529
世帯人員	3.73	3.62	3.52	3.31	3.12	2.99	2.68

資料: 国勢調査

イ 人口増減

平成 5 年より増加を示していましたが、平成 16 年に自然増が社会増を下回ったため、人口はマイナスに転じています。



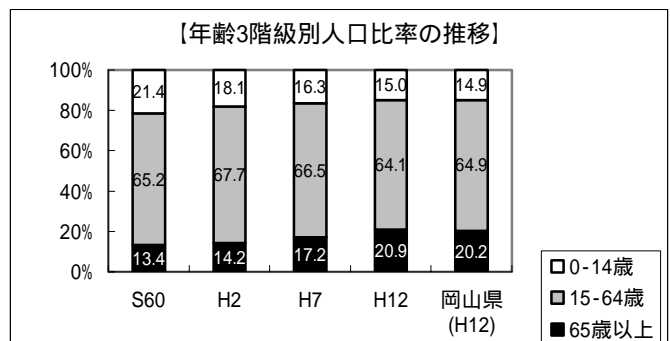
資料: 住民基本台帳

(10月1日現在)

注) 自然増とは出生数と死亡者数の差、社会増とは転入者と転出者の差を示す。

ウ 年齢別人口

0～14歳の年少人口は減少傾向にあり、15～64歳の生産年齢人口は、ほぼ横ばい傾向にあるため、65歳以上の高齢者数は増加傾向にあります。高齢化率は、平成 12 年には、20.9%と県平均の 20.2%を上回っています。



単位: 人	里庄町				岡山県
	S60 1985	H2 1990	H7 1995	H12 2000	H12 2000
0-14歳	2,138	1,916	1,724	1,618	291,346
15-64歳	6,503	7,169	7,038	6,907	1,265,122
65歳以上	1,334	1,504	1,821	2,255	393,658

年齢不詳を除く

資料: 国勢調査

エ 地区別人口

平成 12 年において、人口増加が顕著な地区は、新庄（鉄道北） 里見（鉄道南） 新庄グリーンクレストが挙げられ、人口減少地区は、浜中地区、里見（西）が挙げられます。浜中地区は、平成 7 年まで人口増加傾向にありましたが、平成 12 年には人口減少へ転じています。

地区名	地区面積		昭和60年 注1)		平成2年			平成7年 注2)			平成12年		
	全面積 (ha)	可住地 面積 (ha)	人口 (人)	人口 密度 (人/ha)	人口 (人)	人口 密度 (人/ha)	増加率 (%)	人口 (人)	人口 密度 (人/ha)	増加率 (%)	人口 (人)	人口 密度 (人/ha)	増加率 (%)
10 浜中	132.3	103.2	1,336	12.9	1,498	14.5	12.1	1,572	15.2	4.9	1,535	14.9	-2.4
20-1 新庄（鉄道北・西）	51.5	39.9	3,919	10.5	538	13.5	-11.3	488	12.2	-9.3	507	12.7	3.9
20-2 新庄（鉄道南・西）	231.8	200.6			962	4.8		985	4.9	2.4	975	4.9	-1
20-3 新庄（鉄道南・東）	121.1	100.5			1,441	14.3		1,415	14.1	-1.8	1,421	14.1	0.4
20-4 新庄（鉄道北・東）	30.4	21.2			536	25.3		517	24.4	-3.5	569	26.8	10.1
30-1 里見（西）	149.6	128.6	4,720	9.4	1,290	10	-2.7	1,241	9.7	-3.8	1,165	9.1	-6.1
30-2 里見（鉄道南）	71.3	51.2			554	10.8		506	9.9	-8.7	565	11.0	11.7
30-3 里見（東）	139.6	120.2			1,223	10.2		1,263	10.5	3.3	1,317	11.0	4.3
30-4 里見（北）	278.2	200.7			1,526	7.6		1,550	7.7	1.6	1,572	7.8	1.4
40 新庄グリーンクレスト	17.2	12.0	-	-	1,021	85.1	-	1,046	87.2	2.4	1,156	96.3	10.5
合 計	1,223.0	978.1	9,975	10.2	10,589	10.8	6.2	10,583	10.8	-0.1	10,782	11	1.9

注1) 昭和60年国勢調査の人口は、町丁・字単位の数値のみであり、昭和60年当時の大字（10浜中、20新庄、30里見）の集計としていた。ただし、40新庄グリーンクレストは、20新庄内に含む。

資料：国勢調査

注2) 平成7年人口は、平成7年国勢調査の最終確定値がないため、速報値（概数）を用いて集計している。

人口密度現況図（平成 12 年）

